



謹賀

安全で安心して暮らせる
まちづくりに向けて

笠松町議会議長 安田 敏雄

あけましておめでとうございます。

平成二十年の輝かしい新春を迎えるにあたり、町議会を代表してごあいさつを申し上げます。

町民の皆様には、日ごろから町政発展並びに議会運営諸般にわたり格別なるご支援ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、我が国の経済情勢は景気回復の兆しはあるものの、いまだその実感がなく町民の家計にはまだまだほど遠く、不透明感が残っております。

国から地方への地方分権化の流れの中、地方自治体に求められる役割、責務はますます大きくなり、地方自治体を取り巻く環境は、少子高齢化や社会保障費の増大、国の三位一体の改革など非常に厳しい状況にあります。

こうした状況の中、当町においては、単独による町政運営が求められ、平成十七年二月に策定された行財政改革推進プラン

により経常経費の削減はもとより、道路整備や下水道整備などの投資的経費の抑制など、町民の皆様の温かいご理解により、本年度までの三年間、住民協働による自助・共助・公助のもと、当初の目的である町単独で持続できる町政運営のため、行財政改革を推進することができました。

行財政改革推進プランの子育て支援事業や資源ごみ集団回収事業に代表されるような五つの特化施策を、サービスを低下させず負担も増やさず実施することができたものと思っております。

平成二十年度におきましても引き続き限られた財源の中、町政に携わる者が一丸となって英知を結集し、これからの効率的な行財政運営によって住民生活の安定向上のための施策を充実させていく必要があると認識しております。

われわれ議会といたしましては、将来の笠松町のあるべき姿

をしつかり見定めて、町政に提言していくことが、私たち議員の重要な使命であると考えております。

また、今年の三月には、四年に一度の町議会議員選挙が行われ、今回から議会改革により議員定数が「一四」から「一〇」に削減されます。

町民の負託を受け、町政壇上に送られている私たち議員は、より一層その責務と役割の重大さを深く自覚し、安全で安心して暮らせるまちづくりに向け、さらに全力で取り組む決意であります。

どうか、本年も議会活動にこれまで以上に関心をもっていただき、町民の皆様が積極的にご意見などを寄せていただくとともに、皆様の変わらぬご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

終わりに、皆様のご健勝とご多幸を心から祈念いたしまして新年のごあいさついたします。